

北広島町産ほうれんそう周年試験販売を実施中！

【平成 30 年 3 月 5 日掲載】

北広島町農業技術部会では「きたひろしま軟弱野菜振興プラン 2015」に基づいて、「北広島町の軟弱野菜を広島都市圏のすべての食卓に」を合言葉に、北広島町産のほうれんそうを周年供給する体制づくりを進めています。西部農業技術指導所は、当技術部会のメンバーとして協力しています。

今年度は（株）フレスタ横川店で試験販売を実施し、定期的で開催する「北広島野菜フェア」において北広島町産農産物の PR 販売を行いながら、北広島町産ほうれんそうの認知度や消費者ニーズの調査を行っています。

試験販売は平成 29 年 11 月 1 日から始めており、平成 30 年 2 月 10 日（土）に 2 回目の「北広島野菜フェア」を開催しました。当日は北広島町産ほうれんそうの販売や試食、レシピ配布を行い、鮮度や産地情報を消費者へアピールしました。また、バイヤーから要望のあったほうれんそうの小袋（半量）の試験販売も実施しました。

アンケートに協力いただいた消費者から、「北広島町がほうれんそう産地であることを知ったので、これからは積極的に購入したい。」「県内産がいつも買えるのは嬉しい。」「ぜひ頑張ってほしい。」といった意見をいただきました。

今後も同店で「北広島野菜フェア」を定期的で開催しながら、試験販売を通じて北広島町産ほうれんそうの認知度向上を図り、そこで得た情報を生産者と共有しながら産地化を進めていきます。



【北広島野菜フェアの様子】



【ほうれんそう小袋試験販売】